

児童・生徒が自分自身の成長を確かめる学校行事

校長 黒澤 一慶

本日、2学期の教育活動が無事終了いたしました。保護者並びに七生福祉園の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

先月末に開催しました学習発表会では、制限のないフルオープンの形式で実施したこともあり、大変多くの方々にご来場いただきました。児童・生徒が頑張ってきた学習の経過とその成果をご堪能いただけたのではないかと安堵しているところです。誠にありがとうございました。

学校行事は、関係者の皆様に児童・生徒の日頃の学習の成果を見ていただき、一人一人の成長とともに確認し喜んでいただく大切な機会ととらえています。同時に児童・生徒自身が自分の成長を確かめる教育活動でもあると考えています。発表を通して目的を達成したことで、自己肯定感や自己効力感を感じることができ、次の目標に向けた自信と意欲につながる大切な教育活動となりました。

さて、先月開催されたPTA運営委員会において、国からの要請に基づき東京都教育委員会が各学校に指示を出した来年度以降の教育課程の見直しのうち、本校に関わる変更点について概略を説明させていただきました。それらは、①各学年の年間総授業時数は、学習指導要領に定められた標準時数を大幅に超えることがないように改めること、②宿泊防災訓練は一定程度の成果が得られたと判断し、令和9年度からは宿泊を伴わない防災訓練とすること、の2点です。1月もしくは2月頃に、具体的な変更点について紙面をもってお知らせし、3月の全校保護者会において説明する予定です。ご承知おきください。

明日より冬季休業が始まります。新年1月8日に、また元気な姿を見せてください。感染症には十分にご留意いただき、どうぞ良いお年をお迎えください。

6年度の学習発表会について

総務部担当主幹教諭 川中 舞

今年度の学習発表会は、5年ぶりにすべての内容について対象制限なしの形となり、保護者の方以外の地域の方や卒業生、元職員の方など多くの方に御来場いただくことができました。学校現場では、1学期の間にほぼ発表内容の概要が決まり、夏休み中に衣装の材料を注文したり、台本が出来上がったりします。2学期に入ると、発表内容が普段の授業に散りばめられていきます。もちろん1学期の学習の積み重ねもあります。10月後半に入ると、それらを集めて一つの発表にまとめていきます。このように学習と練習を積み重ね舞台発表当日を迎えた児童・生徒たちは、たくさんの観客の前でも堂々と、日頃の練習の成果を發揮し、緊張しながらも満足感や達成感を感じていたようでした。御来校いただき応援して下さった方々の暖かなまなざしが児童・生徒にもたくさん届いていたのだと思います。たくさんのエールをありがとうございました。

また、アンケートの御協力もありがとうございました。99名の保護者の方、七生福祉園の方10名、その他の来校者12名の方に御回答いただきました。舞台発表や作業販売、作品展示、それぞれで大変良いまたは良いという評価を94~100%という高い割合でいただくことができました。残りの「改善をしたほうが良い」という意見については、その他の意見の中に書かれていることを参考に、改善に努めて参ります。